

Abstract of Japanese Utility Model Laid-Open Publication No.64562/1986

This Japanese Utility Model provides a lubricating mechanism of a final reduction gear having inter-axle differential (6), the mechanism comprising a hollow portion as the passage for lubricating oil between the divider gear (8) and the through shaft (7), the lubricating oil being pressure fed into the hollow portion by the pump,

characterized in that a ring-like oil catcher (38) formed like a bowl covering end faces of divider bearings (12, 13) through the gap, the oil catcher (38) being opened its central portion, through which the through shaft (7) is passed, is provided on the divider bearings (12, 13) located respectively while supporting the divider gear, and

a vertical hole (39) connecting to an inside of the oil catcher (38) from the hollow portion is provided in the divider gear (8).

⑬ Int. Cl.

F 16 H 57/04
B 60 K 17/16

識別記号

庁内整理番号

6608-3J
7721-3D

⑭ 公開 昭和61年(1986)5月1日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 インタアクスルディフアレンシヤル付終減速装置の潤滑構造

⑯ 実 願 昭59-148553

⑰ 出 願 昭59(1984)10月2日

⑱ 考 案 者 横 田 幸 男 上尾市大字竜丁目1番地 日産ディーゼル工業株式会社内

⑲ 出 願 人 日産ディーゼル工業株式会社 上尾市大字竜丁目1番地

⑳ 代 理 人 弁理士 笹島 富二雄

㉑ 実用新案登録請求の範囲

デバイダーギアとスルーシャフトの間に、潤滑油通路となる中空部を備え、ポンプにより潤滑油を該中空部に圧送するようにしたインタアクスルディフアレンシヤル付終減速装置の潤滑構造において、デバイダーギアを支持して夫々位置するデバイダーベアリングに、該ベアリング端面を空隙を介して覆う碗状に形成されかつ前記スルーシャフトが通る中心部が開口された環状のオイルキャッチャーを設けると共に、前記中空部から該オイルキャッチャー内に通じる縦孔を前記デバイダー

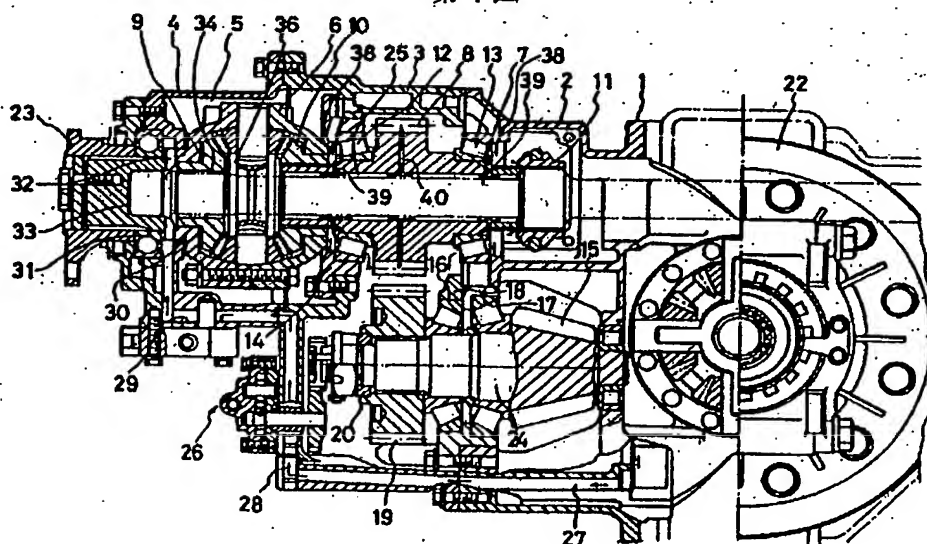
ギアに設けたことを特徴とするインタアクスルディフアレンシヤル付終減速装置の潤滑構造。

図面の簡単な説明

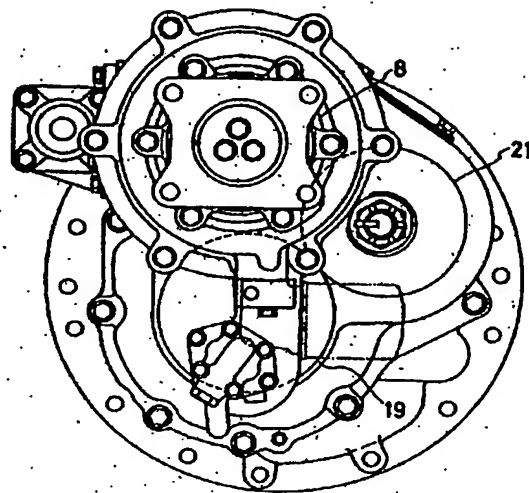
第1図は本考案に係わるインタアクスルディフアレンシヤル付終減速装置の縦断面図、第2図は同上装置の側面図、第3図は同上装置におけるデバイダーベアリング部の拡大縦断面図である。

6…インタアクスルディフアレンシヤル、7…スルーシャフト、8…デバイダーギア、1, 2, 13…デバイダーベアリング、3, 8…オイルキャッチャー、3, 9…縦孔。

第1図



第 2 図



第 3 図

